

認知症サポーター新聞

認知症カフェ

今回は、全国各地に広がりを見せている認知症カフェについて紹介をしたいと思います。名前は聞いた事があるけれど、具体的にどのような取り組みをしているの?とまっている方もいらつしやると思います。

認知症カフェとは、認知症の方や家族、地域にお住まいの方、介護職員等、どなたでも気軽に来る場所です。誰かと話したい、認知症に関する事を聞いてみたい、実際介護してみたい、気分転換をしたい、世間話等、コミュニケーションがとれる場所です。

認知症カフェは、福祉先進国であるオランダが発症と言われています。2015年に厚生

労働省が定めた認知症施策推進総合戦力(新オレンジプラン)の中で、認知症地域支援推進員が運営支援をする役割を担っています。また全市町村での設置を目指すという目標が示されました。

2020年の調査では、47都道府県1518市町にて787737か所のカフェが運営されている事が発表されています。

新オレンジプランとは、認知症の人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域の良環境で自分らしく暮らし続けることが出来る社会の実現を目指すためにあげられた施策です。現在は認知症施策推進大綱の中で、謳われています。

カフェ月

現在、開催されているカフェのご紹介をします。秋田市内で新型コロナウイルス感染拡大の為、お休みをしておりました。令和4年3月より感染対策をとりながら開催しております。場所は山王にある、カフェ月(ゆえ)です。オーナーの佐藤さんは星が好きで、星空案内人の資格を取得されています。お店の名前から、星好きを感じますね。

和カフェとして4年前オープンしており、下宿所として使用していた家を改装しています。昭和レトロな空間の中でゆっくりとした時間を過ごす事が出来ます。



【発行】
泉地域包括
支援センター
リンデンバウム
TEL 896-5960
FAX 864-3006

この空間で楽しめるのが、北限のお茶「能代檜山茶」です。檜山茶の栽培を行っている農家は少なく、希少なお茶と言われています。また、店主の手作り茶菓子(和三盆)も味わえます。器もとても素敵で見たいしめるのもお店に行く楽しみの一つになると思います。

ワロック・ホルンの音楽鑑賞会・星座早見表作成等、毎月テーマは様々です。店主のご友人達も認知症サポーター養成講座を受講し、サポーターとして協力してくれています。月2回の不定期開催で、現在は新型コロナウイルス感染症対策の為、参加人数を制限させて頂きながら実施しております。申し込みが必要となりますので、ご興味のある方は、当センターまでご連絡下さい。

出典：認知症カフェ実施

厚生労働省より